

Newsletter

JAPAN SOCIETY OF EDUCATIONAL INFORMATION

日本教育情報学会

NO. 9 4 別冊

日本教育情報学会第17回年会のご案内（第3報・最終報）

日本教育情報学会第17回年会の開催にあたって

第17回年会は、本年5月の案内では発表セッションを21事例掲げ、比較的幅広いテーマの応募を予定していましたが、応募された発表は、情報教育一般、ソフトウェア開発、情報教育の学力観、遠隔教育、ネットワーク活用、情報教育カリキュラム、情報教育システム、情報教育のリーダー育成、プレゼンテーション、情報教育の評価にまとめることができ、その大部分が小・中・高・大学における情報教育関連のテーマでした。

本学会は「教育に関する情報」と「情報に関する教育」の研究を中心テーマとしておりますが、会員の関心は、後者の情報教育にあることがわかります。

第17回年会は、目玉として、本間政雄京都大学事務局長に「IT社会における日本の学校変革」のテーマで記念講演をお願いしました。最近、国立大学においても私立大学においても、さらには高等学校においても、将来を展望してさまざまな新しい方向性が発表されています。現状のままの体制では将来生き残れないといわれています。このような学校変革の専門家として本間先生の忌憚のないご意見をうかがうことになっております。

この他、パネル討論Ⅰ「学校における情報教育カリキュラムの課題」、同Ⅱ「情報教育における評価の観点と評価の方法」、自主パネル討論「学校のネットワーク化における行政と学校との協力」で活発な討論が行われる予定です。本学会が日本の情報教育のための新しい方向性を見出すように、是非、多数の方々にご参加いただいて活発なご意見を賜りますようお願いいたします。

第17回年会実行委員長
芦葉 浪久
(十文字学園女子大学教授)

主催 日本教育情報学会
期日 2001年11月10日(土)・11日(日)
会場 国立オリンピック記念青少年総合センター
所在地 〒151-0062 東京都渋谷区代々木神園町3番1号 (TEL03-3467-7201)
交通 小田急線 参宮前駅下車 徒歩7分
地下鉄千代田線 代々木公園駅下車 徒歩10分

問合せ先 〒158-8630 東京都世田谷区等々力 6-39-15 (学)産業能率大学内
 日本教育情報学会 第17回年会実行委員会 事務局
 Tel:03-3704-9168 Fax:03-3704-9246
 メールによる問合せ：荒井元明 (ARAI_Motoaki@hj.sanno.ac.jp)

スケジュール

日程	会	9:30	12:00	12:00	13:00	13:50	14:00	15:00	15:10	16:50
11 / 10 (土)	A	一般 情報教育の展開		昼 食					一般 ネットワーク活用	
	B	一般 情報教材開発							一般 ネットワーク活用学習システム	
	C	課題1 情報教育における学力の考え方・とらえ方							課題2 学力低下問題への情報教育への対応の仕方 課題3 学力形成における情報教育の役割	
	D	一般 遠隔教育システム			総会 学会賞 表彰式	記念講演 IT社会における日本の学校変革	自主課題 教師間の情報流通を助けるネットワーク			
		9:30	10:50	11:00	13:00	13:00	14:00	14:00	16:00	
11 / 11 (日)	A	一般 情報教育カリキュラム		昼 食						
	B	一般 情報教育システム							一般 遠隔協働学習	
	D	課題4 情報教育における評価の観点と評価の方法	一般 情報教育リーダー育成						一般 プレゼンテーション	
	E	自主パネル 学校のネットワーク化における行政と学校との協力	パネル討論1 学校における情報教育カリキュラムの課題－生涯学習を見通して－						パネル討論2 情報教育における評価の観点と評価の方法	

※懇親会 11月10日(土) 17:00~18:30 レストラン「とき」(カルチャー棟2階)

大会本部・受付 センター棟1階 104室

発表会場

A会場 511研修室(センター棟5階40人定員) B会場 512研修室(センター棟5階40人定員)
 C会場 513研修室(センター棟5階80人定員) D会場 401研修室(センター棟4階120人定員)
 E会場 311研修室(センター棟3階160人定員)

A・BはOHPを、C・D・E会場は書画カメラが利用できます。

各会場とも、液晶プロジェクタ(解像度800x600ドット、コネクタD-Sub15pin)、VTRが使用できます。

発表時間 18分(発表12分 質疑4分 準備後始末2分)

発表者・司会の方へ

会場・時間を確認の上、司会の方は発表開始10分前、発表者は開始5分前には会場にお越しください。事前に打ち合わせなどの時間は設けませんが、各会場で手順・方法などの打ち合わせをお願いします。書画カメラ、液晶プロジェクタなどは、すべて制御卓より一括でコントロールできますが、使い方に慣れておく必要があるかと思えます。事前に各自でチェックをお願いします。なお、ご不明な点は本部までお問い合わせください。

参加申込について

研究発表の有無にかかわらず、年會に参加される方は年會参加申込書（はがき/Newsletterに同封）で、参加申込をしてください。

（発表申込みをされている方も、必ず参加申込み手続きをおとりください）

参加申込書（はがき）に必要事項をご記入の上、第17回年會実行委員会事務局まで送付してください。送付の際には、お手数ですが切手をお貼りください。

事前参加申込締切10月26日（金）必着（期日までに申し込めない方は当日参加扱いになります）

参加申込書送付後、Newsletterに同封の郵便振替用紙をご利用になり、必要事項をご記入になって、参加費等を郵便局から10月31日（水）までにお支払いください。

○参加費用	・会員の予約の場合	・会員の当日の参加または会員外
	参加費 3,000円	参加費 4,000円
	資料代 3,000円	資料代 3,000円
	懇親会費 5,000円	懇親会費 4,000円

○論文集の郵送申込について（年會に参加されない方のみ）

年會に参加されない方で、論文集を購入希望の方は参加申込書の該当欄にご記入の上、申込をしてください。年會終了後論文集を送付いたします。1冊3,500円（発送諸費用込み）

用紙をお持ちでない方は下記参照の上、申込みは官製はがきを、お支払いは郵便局備え付けの郵便振替用紙をご利用になり、手続きをお願いします。

〒158-8630 東京都世田谷区等々力6-39-15（学）産業能率大学内

日本教育情報学会 第17回年會実行委員会 事務局

郵便振替口座「00180-7-52948」 口座名「日本教育情報学会第17回年會」
（学会本部事務局の口座とは異なりますので、ご注意ください）

宿泊について

宿泊については、各自でご手配ねがいます。

（今回はオリンピック記念青少年総合センターへの宿泊はできません）

プログラム

11月10日（土） 14:00～15:00	D会場（401研修室）
記念講演 「IT社会における日本の学校変革」	本間 政雄（京都大学事務局長）

11月11日（日） 11:00～13:00	E会場（311研修室）
パネル討論Ⅰ 「学校における情報教育カリキュラムの課題－生涯学習を見通して－」	

【コーディネータ】 堀田龍也（静岡大学）

【パネリスト】	・プレゼンテーションの視点	堀口秀嗣（国立教育政策研究所）
	・コンピュータ活用・校内LANの視点から	井口磯夫（十文字学園女子大学）
	・インターネットの視点	佐々木真理（京都教育大学）
	・Webページの活用視点から	加藤直樹（岐阜大学）

[情報教育のとらえ方]

1999年7月に関係各省の局長・課長による総理直属のプロジェクトチームから、バーチャルエージェンシー「教育の情報化プロジェクト」報告が総理に提出されました。この報告の内容は2005年を目標に全国すべての学校のすべての教室において、すべての教員がすべての授業でコンピュータ・インターネットを活用することをめざしています。

これによって、学習者は教員から与えられた情報を受動的に吸収するだけでなく、自ら必要とする情報について考え、ネットワークを通じて得られた情報から目的に合ったものを取捨選択したり、再編成したりすることを日常的に行うようになります。学習者はこのような学習を通じてさまざまな情報を積極的に収集・整理・活用するとともに、自ら主体的に学び考え、その結果を論理的に組み立てて表現・主張する能力を身につけることをねらっています。すなわち、コンピュータ・インターネットを活用することによって、学習者のコミュニケーション能力を飛躍的に高めることが情報教育の大きなねらいです。

[パネル討論Ⅰの趣旨]

以上のように情報教育をとらえ、その内容の重点項目を、プレゼンテーション、インターネットの活用、校内LANの活用、コンピュータの活用、ホームページの制作とし、それぞれの項目について教科学習で効果的に実践している事例に基づいて、情報教育の課題について討論します。

11月11日(日) 14:00~16:00

E会場(311研修室)

パネル討論Ⅱ 「情報教育における評価の観点と評価の方法」

[コーディネータ] 中村祐治(横浜国立大学)

[パネリスト] 矢田光宏(鳥取市立久松小学校)

小松広宣(江戸川区立南葛西第二小学校)

成田健之介(名古屋市立助光中学校)

佐藤正明(岐阜県立岐阜工業高校)

11月11日(日) 9:30~10:50

E会場(311研修室)

自主パネル討論 「学校のネットワーク化における行政と学校との協力」

[コーディネータ] 本郷 健(川村学園女子大学)

[パネリスト] 坂井岳志(東京都世田谷区立千歳小学校)

永嶋賢一(埼玉県所沢市立視聴覚・教育センター所長)

鎌田和宏(東京学芸大学付属世田谷小学校)

中島武史(武蔵村山市立第三小学校)

各学校において急速にネットワーク化が進められている。しかし、教師の希望に沿った形態でのネットワークが進められない学校がある。学校の属する自治体での条例が学校のネットワーク化を阻む原因になっていることもある。この種の問題では各自治体の行政担当者と学校の教職員が幅広く協力して、教育に役立つネットワークの構築を目指すことが求められている。そのために行政と現場がどのような協力をするべきかを議論する場を設けたい。

11月10日(土) 9:30~12:00

C会場(513研修室)

課題1 「情報教育における学力の考え方・とらえ方」

[コーディネータ] 赤堀侃司(東京工業大学教育工学開発センター)

新教育課程下の学校教育では、「生きる力」を育てる教育をめざした新しい学力の形成が期待されています。この新学力観を情報教育の観点からどのようにとらえたらいいのか、また、情報教育がめざす学力とは何かなどの課題を認知科学の視点や構成主義の学習理論の視点から検討したい。

1C1 情報教育において学習者の理解をどうとらえるか

塚本 榮一(東洋英和女学院大学)

- 1 C 2 情報活用能力とメタ認知能力の関連
赤堀 侃司 (東京工業大学)
- 1 C 3 高校新教科『情報』に期待される学力
武井 恵雄 (帝京大学)
- 1 C 4 情報教育における学力の考え方・とらえ方—沖縄県の教育実践事例を通して—
米盛 徳市 (琉球大学)
- 1 C 5 情報教育のゴールと学力
伊藤 紘二 (東京理科大学)

11月10日(土) 15:10~16:50

C会場(513研修室)

課題2 「学力低下問題への情報教育への対応の仕方」

課題3 「学力形成における情報教育の役割」

[コーディネータ] 堀口秀嗣 (国立教育政策研究所), 木下昭一 (聖徳大学)

教育内容の厳選により新教育課程下の学校教育では、学力低下を招くおそれがあるといわれ、基礎基本の確実な習得が求められています。わが国の教育は国際的な学力調査の結果から、学力低下の傾向がみられるのか。また、諸外国では情報教育に対応した学習活動によってどのような学力の育成を重視しているのかなど、国立教育政策研究所等が関係してきた学力調査等を参考に諸外国の学力問題の考え方と情報教育の対応とともに、今後のわが国の検討課題について検討したい。

新教育課程における学習指導要領のもとでは基礎基本の確実な習得による学力形成を求めています。教科学習におけるマルチメディア活用などの情報教育は「生きる力」を育てる教育に向けてどのような役割を学力形成における学習指導の工夫が期待されるか、小・中・高校の対応課題について検討したい。特に小学校の情報教育の役割、中学校「技術家庭」の情報教育の役割、高校の教科「情報」の役割を重点に置きたい。

- 2 C 1 コンピュータとLANを活用した算数の学び合い—基礎基本を生かし、発展的に考える算数学習
河村 一郎 (品川区立第三日野小学校), 荒川 信行 (品川区立三木小学校)
- 2 C 2 ネットワーク技術の世界をひらく中学校技術科「情報とコンピュータ」のカリキュラム開発
尾高 進 (東京学芸大学大学院), 村松 浩幸 (中野市立中野平中学校), 川俣 純 (北相馬郡藤代町立藤代中学校), 本多 満正 (東京大学教育学部附属中等教育学校), 渡辺 浩康 (新宿区立西戸山第二中学校), 鈴木 善晴 (名古屋大学教育学部附属中学校), 坂口 謙一 (東京学芸大学), 大谷 良光 (弘前大学)
- 2 C 3 教科(情報)の役割と普通教科との接点—高等学校世界史の授業実践を通して—
若菜 初 (都立新宿山吹高校)
- 2 C 4 ICTに関する国際調査
堀口 秀嗣 (国立政策教育研究所)
- 2 C 5 学力形成における情報教育の役割
木下 昭一 (聖徳大学)

11月11日(日) 9:30~10:50

D会場(401研修室)

課題4 「情報教育における評価の観点と評価の方法」

[コーディネータ] 中村祐治 (横浜国立大学), 井口磯夫 (十文字学園女子大学)

新教育課程下の教育活動については「評価の観点」を設け、絶対評価による評価が行われます。そのため、小・中学校の教科や総合的な学習の時間における「情報活用の実践力」を育てる学習活動での望ましい「評価の観点」は何か求められます。また、その「評価の観点」に対応した「評価の方法」としてどのような評価法が望ましいかについて、具体的な評価の観点と評価の方法について検討したい。特に、情報教育に重点を置いた統合的な学習の時間、中学校の「技術家庭」、高校の教科「情報」における評価の観点と評価方法を重点に置きたい。

- 3 D 1 情報教育における達成度別評価について－英国の情報教育の評価方法を参考にして－
小川 勤（名古屋大学大学院）
- 3 D 2 情報教育における「自己の生き方について自覚を深める」についての評価場面
矢田 光宏（鳥取市立久松小学校）
- 3 D 3 次に生かす評価～2年間の実践を通して～
小松広宣（江戸川区立南葛西第二小学校）
- 3 D 4 国際交流WEBを利用した情報活用の実践力の育成～コミュニケーションと表現を中心に～
成田健之介（名古屋市立助光中学校）、Heidi Potter（JFET 日英教育交流団体）
- 3 D 5 高等学校教科情報テキストの開発と活用
佐藤正明（岐阜県立岐阜工業高校）

11月10日（土） 15:10～16:50

D会場（401研修室）

自主課題 「教師間の情報流通を助けるネットワーク」

[コーディネータ] 鳥居雄司（東京都立墨田工業高等学校）

校務で用いる文書、共通教材などネットワークを活用することによって情報を共有し、教育活動を効率化できる面がたくさん考えられるにもかかわらず、目立った発展が見られない。これらの情報は教職員の転勤等によって、再び一から作り上げるようなことが長年行われてきている。この古くて新しい課題についての解決の糸口を見つけるべく、この課題研究を設けた。

- 2 D 1 教育活動の効率化とネットワーク－高校における意思決定－
鳥居 雄司（東京都立墨田工業高等学校）
- 2 D 2 中学校における教育活動の効率化とネットワーク
西田 友幸（大田区立大森第六中学校）
- 2 D 3 職員室のネットワーク化と校内情報の共有化
坂井岳志、安池 徹（東京都世田谷区立千歳小学校）
- 2 D 4
清水 良男（東京都立向丘高等学校）
- 2 D 5 教育活動の協業化とネットワーク
野村 淳一（豊島区立大成小学校）

11月10日（土） 9:30～12:00

A会場（511研修室）

一般 「情報教育の展開」

司会 大西 慶一（大阪女子短期大学）、和田 武（愛媛大学）

- 1 A 1 情報教育の新たな試みとその展開－女子中学生へのパソコン組み立て実践教育
増澤 文徳（東京成徳大学高等学校）、塚田 慶一（東京成徳短期大学）
- 1 A 2 職業教育における情報教育の役割
本村 猛能（川村学園女子大学）、工藤 雄司（筑波大学附属坂戸高等学校）
- 1 A 3 新教科「情報」に関する「情報科教育法」のあり方とその実践に関する研究
大西 慶一（大阪女子短期大学）、岡森 博和（大阪教育大学）
- 1 A 4 情報活用能力の育成についての考察と実践(2)
川地 保昌（岐阜県立大垣農業高等学校）
- 1 A 5 学年進行に伴う学習へのニーズの変化
和田 武（愛媛大学）、南本 長穂（関西学院大学）
- 1 A 6 情報教育の授業方法の提案とその分析(2)インターネット情報のとらえかた
川口 恭子（梅花短期大学）

- 1A7 SOHO ネットワーク教育の試み
矢野口 聡 (文京女子大学)
- 1A8 小学校からの情報倫理教育の位置付け
福田 桂子 (春日部市立粕壁小学校)

11月10日(土) 9:30~12:00

B会場(512研修室)

一般 「情報教材開発」

司会 成瀬 喜則 (富山商船高等専門学校), 渡辺 昌介 (武蔵野情報学園大学部)

- 1B2 科学的概念の形成を目指した Web 教材の開発(1)
堀 圭二 (滋賀大学大学院), 宮田 仁 (滋賀大学)
- 1B3 ネットワークを使った学習教材開発についての考察
成瀬 喜則・早勢欣和 (富山商船高等専門学校), Tom Lough (Murray State University, USA)
- 1B4 3Dプロッタによる切削システム
堀内 和寛・光成 豊明 (明星大学), 伊藤 穂高 (明星大学大学院)
- 1B5 教育用CGソフトウェアの試作
伊藤 穂高・光成 豊明 (明星大学), 堀内 和寛 (明星大学大学院)
- 1B6 教育用3次元モデルソフトウェア
光成 豊明 (明星大学), 伊藤 穂高・堀内 和寛 (明星大学大学院)
- 1B7 資料の電子ファイリングと検索
渡辺 昌介 (武蔵野情報学園大学部), 横村 宏司 (亜細亜大学)

11月10日(土) 9:30~12:00

D会場(401研修室)

一般 「遠隔教育システム」

司会 村瀬康一郎 (岐阜大学), 安達 一寿 (十文字学園女子大学)

- 1D1 遠隔教育システムを用いた複数大学院授業の選択履修の課題
-受講者が各大学院の授業の中から選択受講-
谷口 知司・後藤 忠彦 (岐阜女子大学), 生田 孝至 (新潟大学), 加藤 直樹・村瀬 康一郎
(岐阜大学)・有園 格 (静岡文化芸術大学)
- 1D2 大学間の連携による e-University System の検討
加藤 直樹 (岐阜大学), 生田 孝至 (新潟大学), 村瀬康一郎 (岐阜大学),
若山皖一郎 (十文字学園女子大学), 有園 格 (静岡文化芸術大学), 松下 文夫 (香川大学)
- 1D3 e-Learning を支援する教育システムの機能に関する検討
村瀬康一郎・加藤 直樹 (岐阜大学), 生田 孝至 (新潟大学), 後藤 忠彦 (岐阜女子大学)
- 1D4 情報通信技術を活用した生涯学習支援に関する研究(1)
-適性の違いによる遠隔学習の受け止め方-
齋藤 陽子 (岐阜大学), 村瀬康一郎・加藤 直樹・伊藤 宗親 (岐阜大学)
- 1D5 デジタル・アーカイブを用いた文化交流の課題
三宅 茜巳・後藤 忠彦・谷口 知司 (岐阜女子大学)
- 1D6 女性関連施設職員のための ICT習得ポータルサイトの構築
安達 一寿 (十文字学園女子大学), 森高 桂子 (国立女性教育会館)

11月10日(土) 15:10~16:50

A会場(511研修室)

一般「ネットワーク活用」

司会 荒川 信行(品川区立三木小学校), 宮地 功(岡山理科大学)

- 2A1 小学校での地域ネットワークの活用ー地域の全家庭への学習情報の提供
横山 隆光(岐阜県坂内小学校), 加藤 直樹(岐阜大学)
- 2A2 近隣にある小学校間の交流学习
荒川 信行(品川区立三木小学校), 石澤美智子(大田区立赤松小学校)
- 2A3 中学校数学教員を対象としたWebベースの教育実践支援交流システムの開発(1)
~Webページへの期待感の調査結果から~
神月 紀輔(滋賀大学大学院), 宮田 仁(滋賀大学)
- 2A4 岐阜大学教育学部, 岐阜県総合教育センター及び岐阜県内の高等学校を結ぶジョイント講座
「楽しく学ぶ数学シリーズ」
中馬 悟朗(岐阜大学), 服部 晃(岐阜県総合教育センター), 加藤 直樹(岐阜大学)
- 2A5 AHPによる大学の授業評価
宮地 功(岡山理科大学)

11月10日(土) 15:10~16:50

B会場(512研修室)

一般「ネットワーク活用学習システム」

司会 足達 義則(中部大学), 綿井 雅康(十文字学園女子大学)

- 2B1 XML/XSLを活用した教育システム
村瀬 孝宏(中京短期大学), 磯本 征雄(名古屋市立大学)
- 2B2 多地点同時TV会議を用いた共同学習の交流学习について
宇山 葉子(松下電器産業(株))
- 2B3 協調活動でのリーダー特性とグループ活動技能の関連
綿井 雅康・中尾 茂子・安達 一寿(十文字学園女子大学)
- 2B4 部品製造工場での新入社員教育におけるハイパーテキスト型教育システムの開発及び教育の
効率化の検討
栢田 崇任(中部大学大学院), 足達 義則(中部大学), 尾崎 正弘・武岡さおり
(名古屋女子大学), 江島 徹郎(愛知教育大学)
- 2B5 グループウェアを利用した総合課題演習の評価
中尾 茂子・安達 一寿・綿井 雅康(十文字学園女子大学)

11月11日(日) 9:30~10:50

A会場(511研修室)

一般「情報教育カリキュラム」

司会 角田 真二(十文字学園女子大学), 石原 辰雄(産能大学)

- 3A1 新入生の文章力に対する一考察
片山 章郎(順正短期大学)
- 3A2 「情報」教育におけるVRMLの利用
堀 恵子(文京大学附属高等学校), 広内 哲夫(文教大学)
- 3A3 企業のO/A化の中でのコンピュータの学習に関する一考察
角田 真二(十文字学園女子大学)
- 3A4 情報基礎教育におけるWeb型CD教材の開発(1)ー情報処理教育カリキュラム日本語文書処理編
橋詰 恵雄・谷口 知司・楓森 博(岐阜女子大学)

- 3A5 経営系学部数学教育における Excel ソルバー機能の活用
石原 辰雄 (産能大学)

11月11日(日) 9:30~10:50

B会場(512研修室)

一般「情報教育システム」

司会 小田 和美(東京女子体育大学), 佐々木真理(京都教育大学)

- 3B1 女子大生の「携帯モバイル社会」参加への主体性および波及効果の可能性
小田 和美・山下 恵(東京女子体育大学), 杉村 淳子(早稲田大学)
- 3B2 若年層における携帯電話の友人間コミュニケーションへの影響とそれに対応した情報教育のデザイン
藤村 裕一(鳴門教育大学大学院)
- 3B3 情報教育を殆ど受けてこなかった女子大生の携帯メールとフリーメールの現状把握と問題点の検討
山下 恵・小田 和美(東京女子体育大学), 杉村 淳子(早稲田大学)
- 3B4 タイ国との遠隔同時共同授業における児童の意識の変容過程(その3)
佐々木真理(京都教育大学), チャリン・マングカング(チェンマイ大学)
- 3B5 小学校における検索エンジン
須藤 史晴・辻 義人・進藤 智洋(東京学芸大学教育学部附属世田谷小学校)

11月11日(日) 11:00~13:00

D会場(401研修室)

一般「情報教育リーダー育成」

司会 浅井 和行(京都教育大学), 宮田 仁(滋賀大学)

- 4D1 現職教師による簡易ポートフォリオ表現活動の試行とその結果
浅井 和行・大隅 紀和(京都教育大学)
- 4D2 情報教育に関する教員研修の事例および課題(2)
黒川 マキ(AST 関西経理専門学校), 林 徳治(山口大学)
- 4D3 女子短大英文科におけるキーボード教育の実施とその効果
齋藤 真弓(山脇学園短期大学)
- 4D4 地域での情報教育の広がりをもとにした研究会の活性化と対策
中條 敏江(石川県松任市立東明小学校), 加藤 隆弘(金沢大学), 岡部 昌樹
(金沢経済大学), 堀田 龍也(静岡大学)
- 4D5 Web ベースのティーチング・ポートフォリオを活用した授業改善支援システムの開発と試行(1)
~教育実習前学生のマイクロティーチングを事例として~
宮田 仁(滋賀大学)
- 4D6 ネットワーク社会における高校生のコミュニケーション形態
杉村 淳子(早稲田大学), 小田 和美・山下 恵(東京女子体育大学)

11月11日(日) 14:00~16:00

B会場(512研修室)

一般「遠隔協働学習」

司会 堀田 龍也(静岡大学), 鎌田 和宏(東京学芸大学教育学部附属世田谷小学校)

- 5B1 情報教育の普及を目指した学校向け Web サイトの構成
堀田 龍也(静岡大学)
- 5B2 表現力の高まりをめざした交流学习における学習支援-テレビ会議システムを活用した授業実践を通して
奥田 純子(熊本県球磨郡上村立上村小学校), 此川美奈代(婦中町立宮野小学校),
堀田 龍也(静岡大学)

- 5 B 3 学習者の理解度を考慮したハイパーテキスト型 CAI 教材の開発
武岡さおり・尾崎 正弘・川田 博美・岩下紀久雄 (名古屋女子大学), 江島 徹郎
(愛知教育大学), 足達 義則 (中部大学)
- 5 B 4 野草情報収集のためのHP構築と情報収集の効率化
山田 信雄 (岐阜県各務原市立那加第三小学校)
- 5 B 5 遠隔協働学習
辻松 康晴 (品川区立上神明小学校)
- 5 B 6 社会科学習活動における WWW 作品の可能性について
-「調べ学習」の問題点の克服の方法としての WWW 作品化-
鎌田 和宏 (東京学芸大学教育学部附属世田谷小学校)

11月11日(日) 14:00~16:00

D会場(401研修室)

一般「プレゼンテーション」

司会 林 徳治(山口大学), 中村 武弘(三重県総合教育センター)

- 5 D 1 プレゼンテーション技術の向上を図る訓練プログラムの開発と評価(1)
~相互理解のための教員研修を通して~
林 徳治(山口大学), 真下 知子(平安女学院大学), 谷口由美子(三田学園)
- 5 D 2 地域からの Web コンテンツ発掘と e-learning ツール
酒井 弘雄((財)高度映像情報センター)
- 5 D 3 プレゼンテーション技術の向上を図る訓練プログラムの開発と評価(2)
-プレゼンテーション技術演習を支援するマルチメディア教材の開発と評価
真下 知子(平安女学院大学), 尾崎 悠子(山口県田布施西小学校), 谷口由美子(三田学園),
林 徳治(山口大学)
- 5 D 4 プレゼンテーション技術の向上を図る訓練プログラムの開発と評価(3)
-プレゼンテーション技術演習と評価
谷口由美子(三田学園), 真下 知子(平安女学院大学), 林 徳治(山口大学)
- 5 D 5 「授業におけるメディアの活用をイメージさせる」学校出前研修カリキュラムの考察
-学校等の研修をサポートする出前研修の方略と問題点
中村 武弘(三重県総合教育センター), 堀田 龍也(静岡大学)
- 5 D 6 分散型 PSE (Problem Solving Environment)
塩谷 勇・坂井 卓磨・宮内ミナミ・松村 有二・森本喜一郎(産能大学)

※都合により一部に変更・追加・中止の場合がありますことをあらかじめご了承ください。

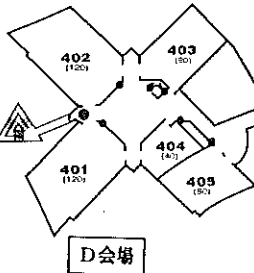
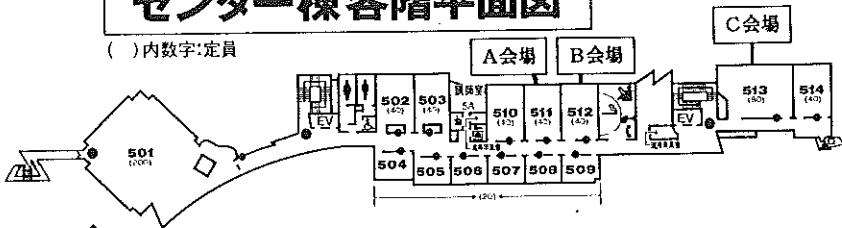
申込書送付先・問い合わせ先

〒158-8630 東京都世田谷区等々力 6-39-15 (学)産業能率大学内
日本教育情報学会 第17回年会実行委員会 事務局
Tel:03-3704-9168 Fax:03-3704-9246
メールによる問合せ: 荒井元明 (ARAI_Motoaki@hj.sanno.ac.jp)

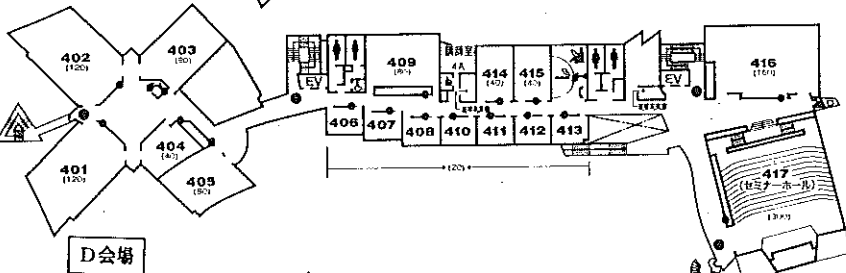
センター棟各階平面図

()内数字:定員

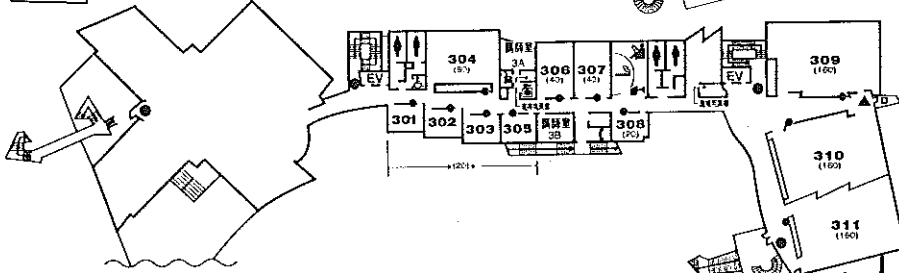
5F



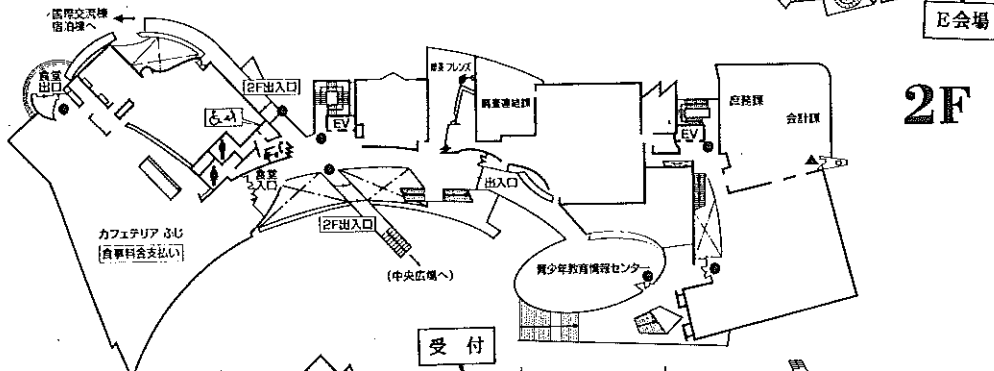
4F



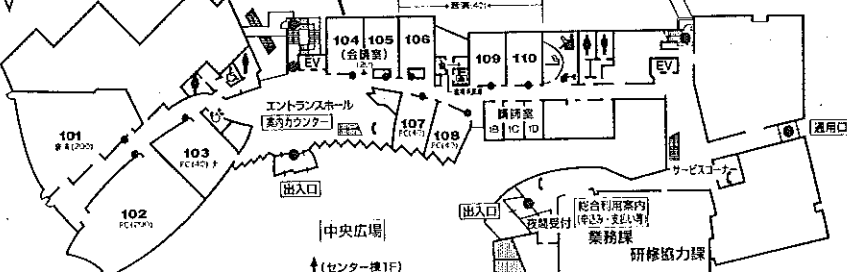
3F



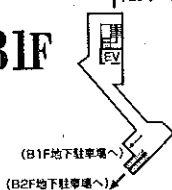
2F



1F



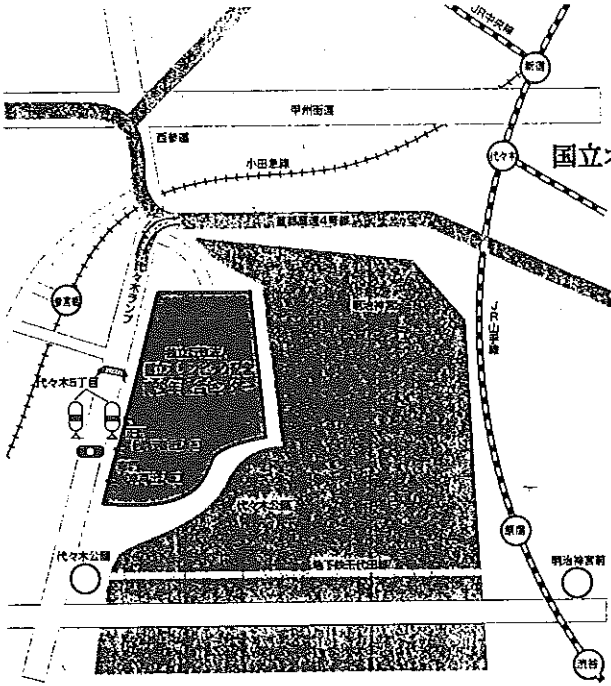
B1F



- 印はテンキーです
- 印は非常口です。(EMERGENCY EXIT)
- ▲印は避難器具です。
- ☎ 郵便貯金ATM
- ☎ 電話
- 🚿 給湯室
- 🚬 喫煙コーナー
- 🗨 談話コーナー
- 📄 自販機コーナー
- 🗃 ロッカー
- 👤 おむつ交換所

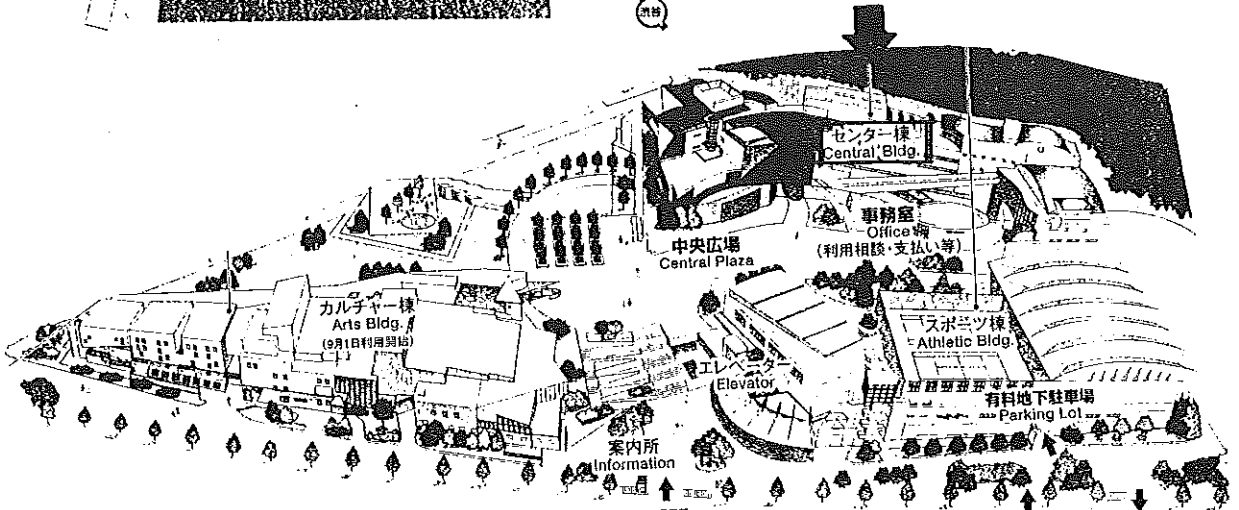
会場案内図

国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 104室 受付



- 小田急線 参宮橋駅下車 徒歩約7分
- 地下鉄千代田線 代々木公園駅下車 徒歩約10分
(代々木公園方面出口)
- 京王バス
新宿駅西口 (16番) より (代々木5丁目下車)
渋谷駅西口 (14番) より

独立行政法人 国立オリンピック記念青少年総合センター
〒161-0052 東京都渋谷区代々木神園町3番1号
TEL.(03)3467-7201 (代表)



正門 Main Gate (歩行者出入口)
受付
(車両入口) Entrance for Vehicles (車両出口) Exit for Vehicles

